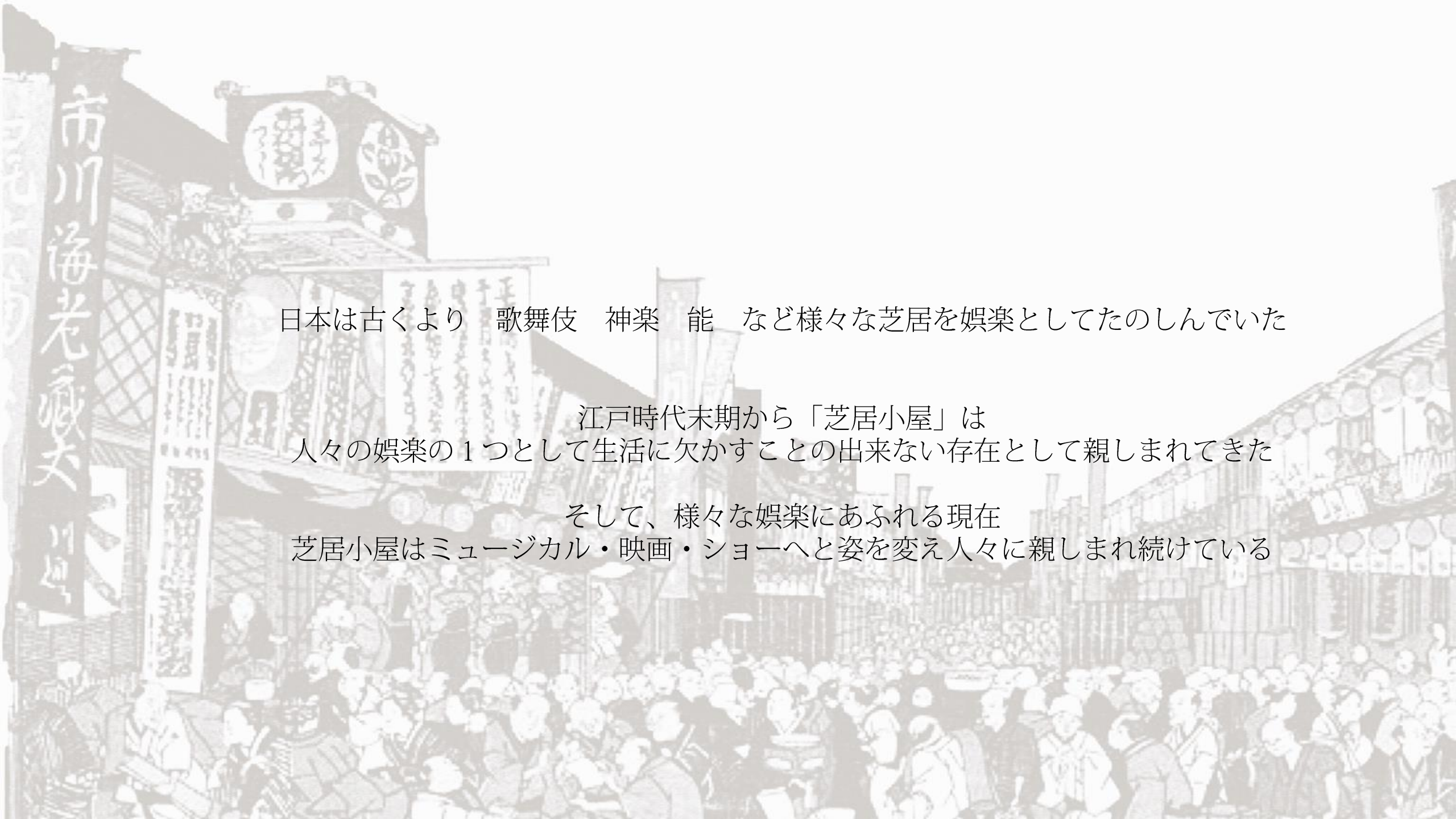




劇場空間のリノベーション提案  
-埼玉県川越市「旧鶴川座」を対象として-



日本は古くより 歌舞伎 神楽 能 など様々な芝居を娯楽としてたのしんでいた

江戸時代末期から「芝居小屋」は  
人々の娯楽の1つとして生活に欠かすことの出来ない存在として親しまれてきた

そして、様々な娯楽にあふれる現在  
芝居小屋はミュージカル・映画・ショーへと姿を変え人々に親しまれ続けている

近年、歴史的建造物の再生利用が注目を集めている。  
特に公共性の高い建物については、まちの歴史的・文化的価値となりまちづくりのシンボルとして注目を集める。  
歴史的建造物の老朽化が進んでいる一方、歴史的価値の向上・市民の愛着など建物への関心が高まってきた。

そこで注目されているのが、用途や機能を変更して性能向上や新たな「付加価値」を与えることで再生する **リノベーション -renovation-** である。

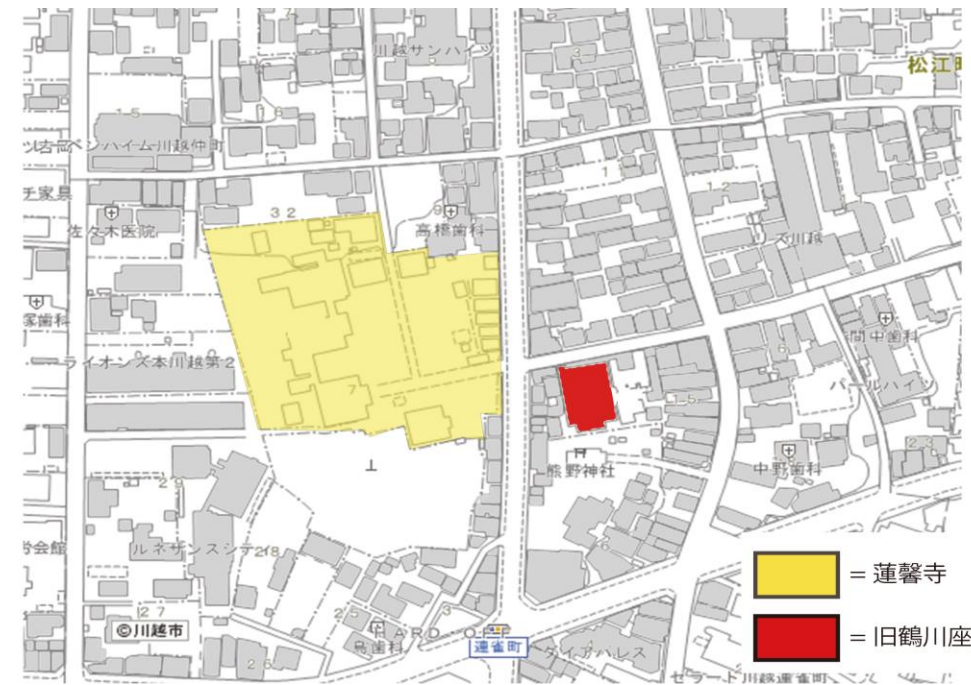
本研究では川越市の「旧鶴川座」を対象に歴史的・文化的継承をすると共に新たな「付加価値」を与えることで利用価値の高いリノベーション提案を行なう。

川越氏の旧鶴川座を対象とした背景として、歴史的背泳に徳川家康の支配に伴い藩が置かれ「江戸の北守り」として栄えた「小江戸・蔵のまちであり、現在も蔵造り・時の鐘など歴史的建造物が多く残る川越で近代の象徴である首都圏随一の木造芝居小屋である旧鶴川座には歴史的。文化的価値があると感じたからである。



旧鶴川座は本川越駅から7分、重要伝統的建築物群保存地区に指定されている「蔵造りの町並み」の入り口に位置している。  
蔵造りの町並みには黒くて厚い壁・大きな鬼瓦・高い棟が特徴である蔵造りの町家が南北430m間に焼く70軒棟を連ね、蔵造り以外にも近代洋風建築・和風建築・寺社・時の鐘など多様な建築様式を見学できる。

旧鶴川座は現在20館ほどしか現存していない芝居小屋の中でも首都圏随一の木造芝居小屋として今日まで存在している。



所在：埼玉県川越市連雀町8番地3  
創建年：1900（明治33）年  
所有者：蓮馨寺（連雀町7番地1）

建物床面積：670.2㎡ 202.7坪  
（1F：484.34㎡ 2F：185.86㎡）  
容積率：600% 建ぺい率：80%  
用途地域：商業地域



その後、映画のロケ地や不定期でイベントが開催されたが、

現在は消防設備の不備により使用できない状態である

二〇〇六年  
平成一七年

ライブハウス川越創奏として回転するが、翌年に撤退する

一九六〇年  
昭和三五

川越日活劇場と称し、映画興行用の必要から  
数回の改築が繰り返される

一九二二年  
大正一一年

当時流行した洋風意匠に改築する

一九〇〇年  
明治三三年

仮説で粗末であつた川越座を新築し鶴川座が開座する

一八九四年  
明治二七年

川越座として再建される

一八九三年  
明治二六年

養寿院門前から発生した川越大火により焼失する

明治初期

蓮馨寺内に川越唯一の松蓮座が建てられる



研究背景・目的

概要

歴史

現況

提案

PLAN



葡萄棚



シーリングファン



格天井

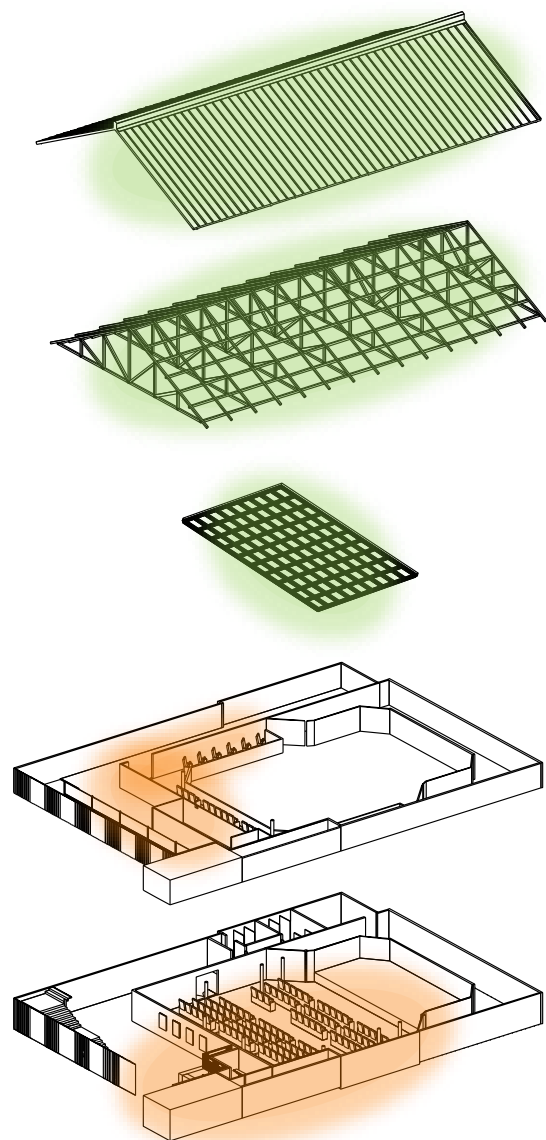


モールディングのある壁



映写室

■ DIAGRAM



# リノベーション -renovation-

## 歴史的建造物の保存

屋根  
小屋組  
格天井  
モールドイング

## 新たな提案

エントランス  
劇場  
外観  
用途

## 様々なイベントに対応

映画館以外にも様々なイベントを行なうことのできる空間を実現する。

旧鶴川座周辺には音楽美術舞台を専門に学ぶ大学があり、学生の舞台練習の場や学生ショート फिल्मの上映として、時には日頃の成果を披露する場として活用する。

また、川越では「川越ライトアップ」などの地域を巻きこんだ行事が多くあり、作品の展示場など地域のコミュニティの場の1つとして活用する。



# イベントに応じたレイアウト変更

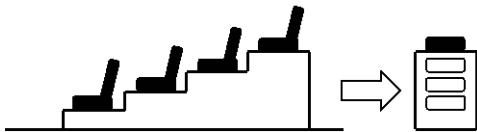
様々なイベントに対応するには座席移動が不可欠である。  
そこで、「壁面固定式収納」「フォールディングチェアプラットフォーム収納」を活用し座席移動を可能にする。  
座席を可動式にしレイアウト変更を可能にすることでそれぞれのイベントにあった空間を提供できる。

## 壁面固定式収納

後部の壁面に本体を収納するタイプ

収納スペースを必要としないので既存の

空間にも設置可能

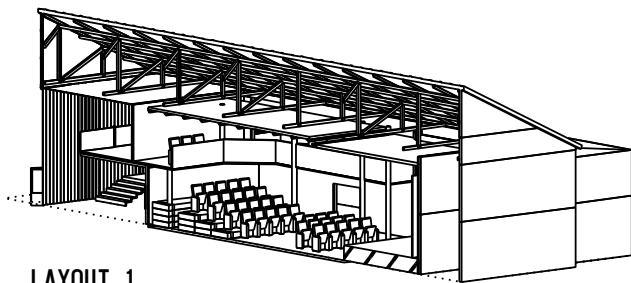


## フォールディングチェアプラットフォーム収納

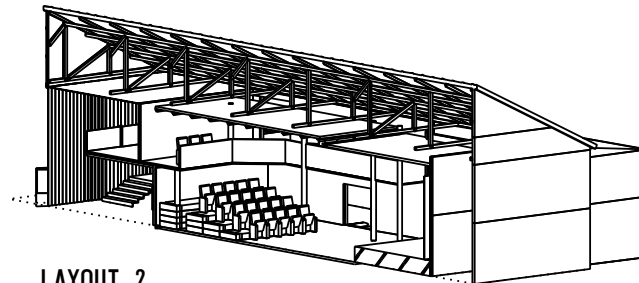
座席を倒し舞台内部へ収納するタイプ

移動観覧席と併用することでさらに多目的

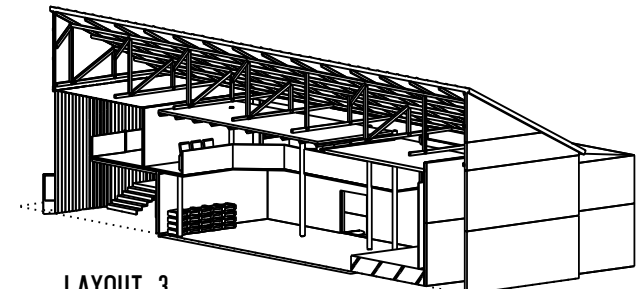
に利用することができる



LAYOUT. 1



LAYOUT. 2

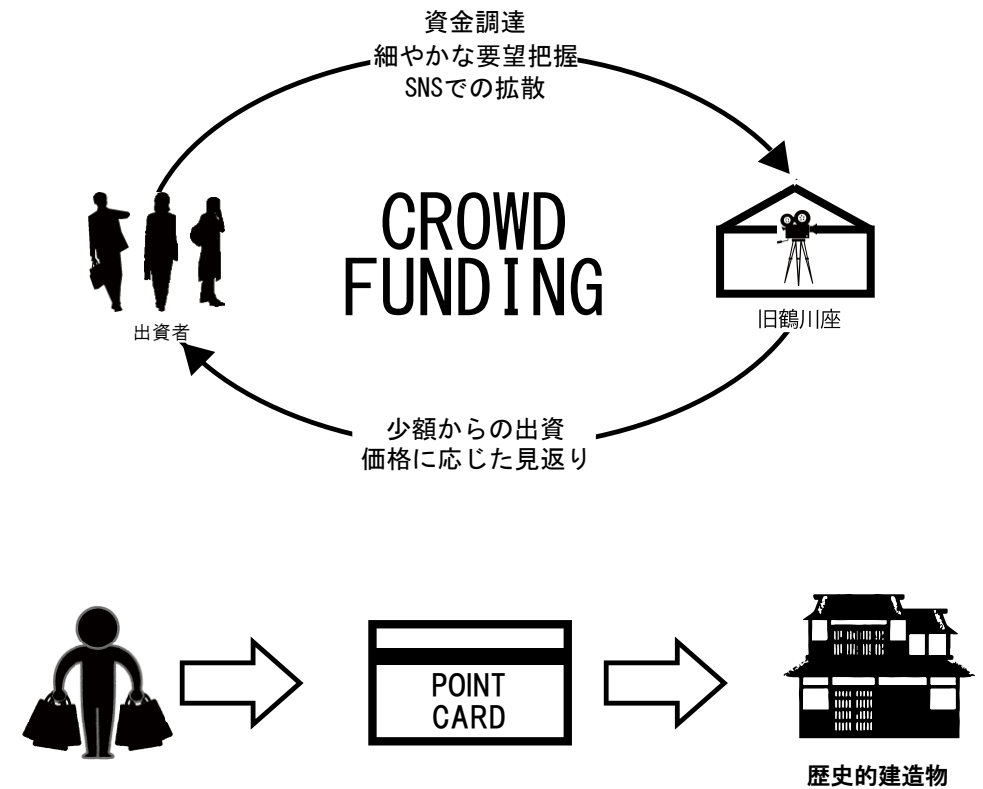


LAYOUT. 3

# 持続可能な経営システム

資金繰りの悪化により小規模映画館閉館が相次いでいる。  
そこで「CROWD FUNDING」を活用し、小規模ながら持続可能な映画館の提案を行なう。

また、各種ポイントカードと連携をとり買い物をすることで取得するポイントを芸術文化や歴史的建造物保存のために募金することの出来るシステムを活用する。



## 耐火対策

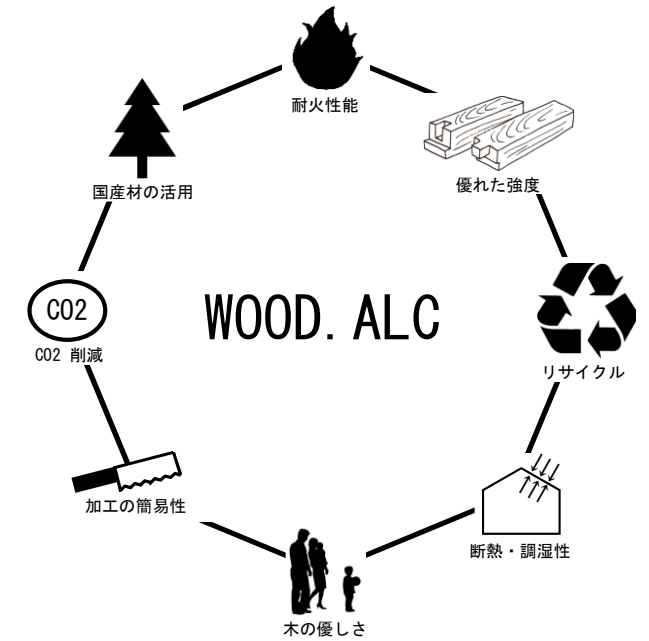
エントランスや外壁に多く使用している木材はWOOD.ALCを利用することで強度・耐火の問題を解決する。

WOOD.ALC (WOOD Attain Low Carbon Society=低炭素社会を達成させる木材)

WOOD.ALCはスギ・ヒノキ・アカマツなどを使用した厚さ120mm,幅450mm,長さ3000-4000mmの外壁用集成材である。

平成23年には準耐火構造の大臣認定を取得している。

木造に限らず、集合住宅の外壁や鉄筋造やコンクリート造で帳壁としても活用されている。



研究背景・目的

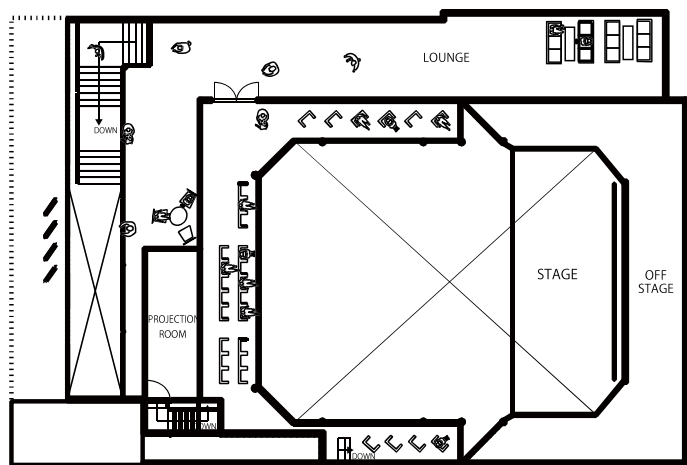
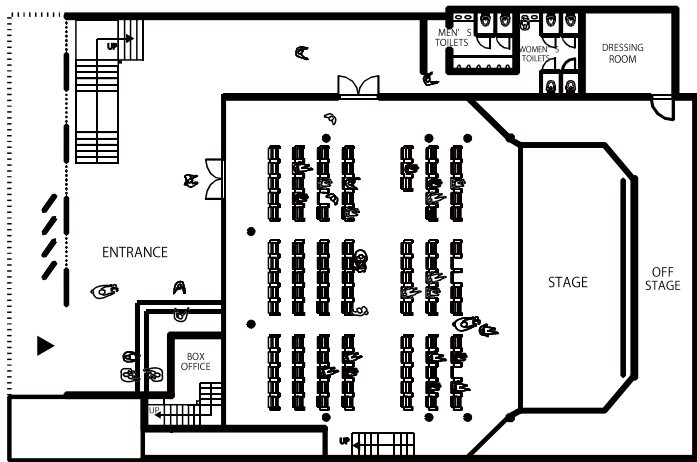
概要

歴史

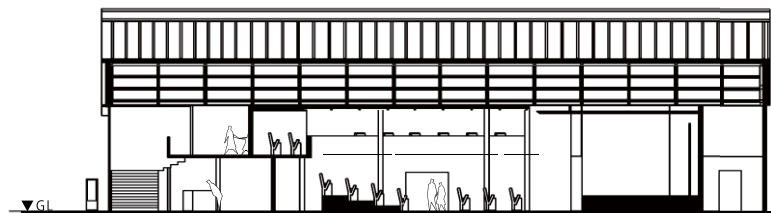
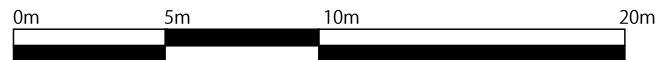
現況

提案

PLAN



平面図



AA' S=1/100



BB' S=1/100